

# 事例 40 思考展開シート

## (1) 疾病や薬の副作用等の影響は考えられますか？

- ・脳血管性認知症、アルツハイマー病と診断されている。排泄は失禁が時々見られ放尿もある。食事はほぼ自立しているが、すり足、前屈姿勢で歩行する。
  - ・抗不安薬や興奮を安定させる内服薬を服用し、日常的に興奮することはない。
  - ・服薬に関して拒否はなく、きちんと服用する。
  - ・認知症の専門医とも連携が取れ、内服の調整もしている。
- 【質問】抗不安薬等を服用してもなお、課題にあるような激しい行動は、どの程度の頻度であるのでしょうか？
- 【回答】
- ・以前は毎晩だったが、鏡症状を起こす物を取り除いたので少なくなってきた。

## (2) 身体的痛み、便秘・不眠・空腹等による苦痛の影響は考えられますか？

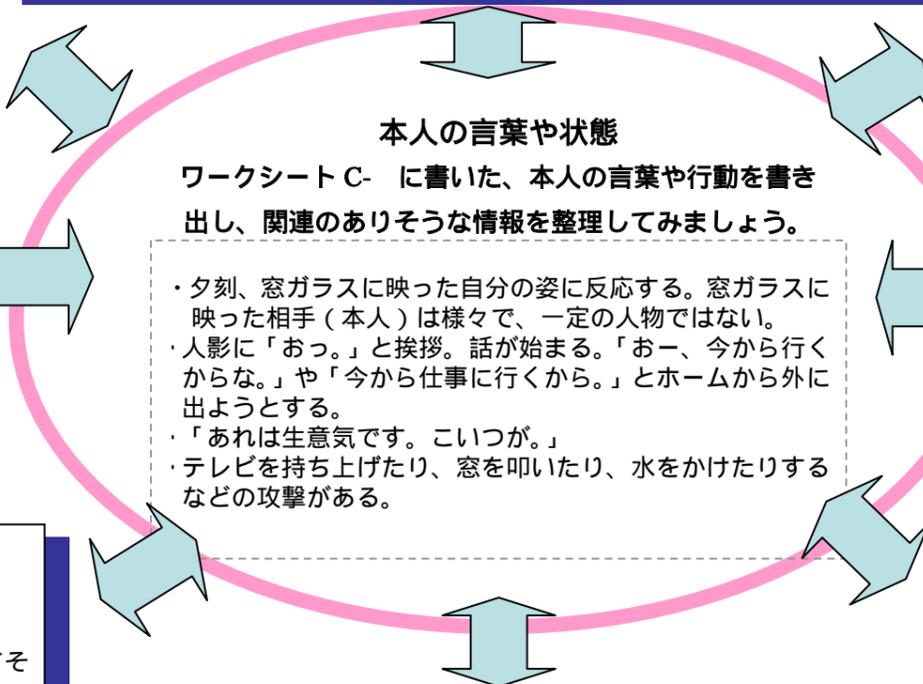
- ・便通も良く、好き嫌いなく何でも食べて、食欲も良好である。食事やお茶などによる水物だけで、1500mlは摂取できている。
  - ・定期的な診察や検査でも異常はなく、安定している。
  - ・遅くとも24時過ぎには休み、1日6時間以上の睡眠は確保できている。
- 【質問】Aさんの在宅時の睡眠パターンはどうでしたか？
- 【回答】
- ・妻の入院中は娘の自宅で過ごしており、その時は21時位から入眠し、朝まで目覚めることはなかった。それ以前の妻との暮らしでの睡眠パターンは不明。
- 【質問】6時間以上の睡眠が確保されていることについて、職員の皆さんはどのように考えていますか？
- 【回答】
- ・通常は6時間程度の睡眠が確保できれば充分だと思うが、昼間も傾眠が見られるため、もう少し長い睡眠が必要ではないかと思う。

## (3) 悲しみ・怒り・寂しさ等の精神的苦痛、また本人の性格等の影響は考えられますか？

- ・無口だが、やさしく世話焼きの面もある。
  - ・昔からじっとしているのが苦手で、何かしていないと落ち着かない。
  - ・特定の利用者Bさんに寄り添っている。
  - ・Bさんがいないと手持ち無沙汰になり、ウロウロし始める。
  - ・毎日のごみ捨てが日課になっており、大きなゴミ袋を一人で持つ。
- 【質問】AさんがBさんと一緒にいると安定するのは、なぜだと思いますか？
- 【回答】
- ・恋心を抱いているのではないかと推察している。本人もBさんのことを「女神さま」と言ったことがある。
- 【質問】つまりAさんにとっては、Bさんは「心地良い」方なのですね？
- 【回答】
- ・心地良いというより好意を持っているように思う。また、隣でウトウトしている場面も多く、安心感もあると思う。

## (4) 音・光・味・臭い・寒暖等感覚的な苦痛を与える刺激の影響は考えられますか？

- ・居室にある洗面・トイレの鏡に反応するため外しているが、夜間居室のバルコニーに通じるガラス戸に映る自分の姿にも反応するので、壁紙で対応している。
  - ・リビングのガラス戸やテーブル、テレビに映る人影が気になって仕方がない。それが興奮につながることもある。
  - ・職員がバタバタしたときに、尿失禁などが見られる。
- 【質問】Aさんが、特に強くBPSDを示す時間帯はありますか？また、季節による違いがありますか？
- 【回答】
- ・日が暮れだしてから寝付くまで毎晩。
  - ・昼間は比較的落ち着いていたが、居室の鏡を見ると怒っていた。



## (5) 家族・介護者など周囲からの過剰、あるいは少なすぎる関わりの影響は考えられますか？

- ・娘の面会は多く、ホームの行事にも必ず参加している。
- ・特定の利用者Bさんは杖歩行で、その身を案じている。
- ・特定の職員を妻だと思っているが、特段行動に変化はない。
- ・特定の若い女性職員を妹だと思っている。
- ・口数は少ないが、表情や行動で自分の不安な気持ちを表現できる。
- ・温かな人が好みの方である。
- ・兄弟がいることは理解しているが、長い期間(40年間)会っていなかったため、久しぶりの再会でも認識できない。

## (6) 障害程度・能力の発揮に対して、住まい・器具・物品等物的環境による影響は考えられますか？

- ・職員のサポートにより、ゴミ捨てや掃除機かけをしてくれる。落ち着いてそれができる、うれしそうにする。
  - ・居室には洗面・トイレがあり、失禁は時々ある。排尿は立ったままでし、自分では流さない。
  - ・居室の箆箆に衣類を入れておくとか枚も重ね着をするため、トイレが間に合わない。そのためタオル類のみを置き、衣類はホームで管理している。
  - ・更衣能力はあるが、声掛けや衣類の調整をしないとパジャマから普段着に替えることができない。
  - ・人影が映る物に反応し、放っておくとエスカレートして興奮する。
- 【質問】テレビやガラスなど、鏡症状を起こす可能性のある物品(設備など)に何か対策をしていますか？
- 【回答】
- ・居室の鏡は布で覆ったが、めくるため外し、バルコニーのガラス戸に張り紙を貼った。
  - ・テレビはギリギリまで様子を見たが、投げる行為が見られたので持ち帰り、共用のテレビは裏返し、窓ガラスは早めにカーテンを引いてソファで距離を作った。

## (7) 要望・障害程度・能力の発揮と、アクティビティー(活動)とのズレによる影響は考えられますか？

- ・木工職人だったことから、箆箆などの備品に興味を持っている。
  - ・馴染みの使い慣れた工具を持参してもらい、備品作成と一緒にしてみたが、道具の使い方を忘れていた。
  - ・何かしないと落ち着かない、何かして人の役に立ちたいという気持ちがあり、ゴミ捨て、下膳や清掃の声掛けに気軽に応じてくれる。
- 【質問】何かAさんが、自分で作れるような物は考えられますか？(例えば、紙細工、マッチ棒細工、爪楊枝細工、粘土細工等々)
- 【回答】
- ・細工などは難しいかもしれないが、積み木などはできるかもしれない。

## (8) 生活歴・価値観等に基づいた暮らし方と、現状とのズレによる影響は考えられますか？

- ・木工職人として働き、定年後は庭木の手入れや額縁作成などの細々したことをしていた。
  - ・料理はプロ並みだったそうであるが、現在は野菜カット程度。
  - ・読書も好きだったようだが、持参した本には興味を示さない。
  - ・軍の訓練生として終戦を国内で迎えた。その時代の記念品を大事にしている。
  - ・妻と二人暮らしで、妻が介護していたが、妻の病気入院により生活上の困難が顕在化した。
- 【質問】Aさんの居室、ホーム内に、本人の手による工作物などを自宅から持って来ていますか？
- 【回答】
- ・自作の写真立てや額を持参していたが、分解し壊してしまった。
- 【質問】Aさんに馴染みのある生活用品は、本人の居室等にありますか？
- 【回答】
- ・ベッドや布団、思い出の写真や本、テレビ、椅子など色んな物を持ち込んでもらった。例えば、使い慣れた箆箆は、「修理する。」と言って壊しかけ、本は破ってしまった。